

2019 年度の主な事業報告

社会福祉法人名南子どもの家

1. 社会福祉事業

(1) 2019 年度は、定款及び事業計画に基づき子どもたちの安心・安全を守り、父母、そして地域から信頼される福祉施設をめざし、次の第 2 種社会福祉事業をすすめました。

- 1) 保育所の経営
- 2) 小規模保育事業 A 型の経営
- 3) 地域子育て支援拠点事業の経営

(2) 事業の実践内容

- 1) 3 回の評議員会、8 回の理事会、3 回の監事会を開催しました。
- 2) 法人の経営基盤の強化を図り、各事業の運営・経営をすすめました。
健全財政に努め、将来に備え、施設整備や改修のための積立金を確保しました。
借入金償還計画にもとづき、計画通り償還しました。
社会福祉充実残高は非該当です。
- 3) ほしぎき保育園老朽改築整備に向け事業計画を作成し、計画は順調にすすみ、2020 年 3 月整備が完了し、新園舎が完成しました。
- 4) 46 年間の法人の理念と実践に全職員が確信をもち、2017 年度作成の「法人の中長期計画」に基づき実践をすすめました。
- 6) 各保育施設は運営を安定させました。
 - ①保育内容、子育て支援の充実をはかり、園内外の子育て支援がすすみました。
 - ②「保育目標」についてさらにその内容をよりよくするための検討チームを立ち上げ、議論を始めました。
 - ③子どもの安心・安全を守るための防災・防犯対策、危機管理意識をたかめる取り組みを実施しました。従来の危機管理マニュアルの内容を見直し、新マニュアルを作成しました。
 - ④各施設、修繕、備品購入計画及び環境向上推進計画に基づき、順次施設修繕、備品の整備を行いました。
- 7) 小規模保育事業 A 型のくるみ保育室は入所要求に応え、定員 10 名を充足し事業は安定しています。
- 8) 地域子育て支援センター は、ほしぎき保育園建て替え期間は近隣の場所に移設しました。毎回たくさん親子の皆さんに利用して頂きました。
- 9) 地域の防災訓練、町内会の取り組みに参加しました。また月 1 回地域高齢サロンを開き、地域の方とお喋り会が定着しました。
- 10) 地域の福祉要求実現の為、児童福祉の分野での新規事業の検討チームを立ち上げました。また事業検討と共に、地域の高齢者や保育園の保護者の要求等の把握を始めました。

2. 公益事業

非該当です。

3. 収益事業

非該当です。